

事業所名 グループホーム町屋
運営推進会議開催報告書

開催日時 2019年 6月 24日(月) 14時00分～14時25分

参 加 者	議 題
利用者 0名	① 行事報告 ② 行事予定 ③ 身体拘束適正化検討委員会 ④ 質疑応答 ⑤ 次回開催日
利用者家族 2名	
地域住民の代表者 0名	
市職員 1名	
地域包括支援センター職員 0名	
事業所 3名	

会 議 録

① 行事報告

1号館

- ・5月6日 誕生日会がありました。誕生日ケーキをお召し上がりになられながら、皆さんでお祝いさせていただきました。
- ・5月9日 日中想定避難訓練を行いました。今回は、地震により火災が発生したと想定し、初期消火訓練、火災通報装置による実通報訓練、避難訓練を行いました。7分32秒で、全利用者様誘導出来ました。
- ・5月17日 母の日のイベントとして、回転寿司に外出に行きました。
- ・6月19日 おやつレク おはぎ(あん、きなこ、ごま)の3種類を作りました。おやつ時に、お召し上がり頂きました。

2号館

- ・5月14日 日中想定避難訓練を行いました。今回は、地震により火災が発生したと想定し、初期消火訓練、火災通報装置による実通報訓練、避難訓練を行いました。7分40秒で、全利用者様誘導出来ました。
- ・5月20日 母の日のイベントとして、回転寿司に外出に行きました。
- ・6月20日 おやつレク たこ焼きを作りました。おやつ時に、お召し上がり頂きました。

② 行事予定

1号館

七夕（流しそうめん）

2号館

七夕（流しそうめん）

③ 身体拘束適正化検討委員会

スピーチロックとは

ベッド柵に手を縛られている、点滴などを抜かないようにミトン型の手袋を着けているという見た目では身体拘束と分かるものではなく、言葉で身体的・精神的な行動を抑制することをスピーチロックとしています。

スピーチロックは、何よりも本人の行動や気持ちを押しさえつけることはその人の尊厳を傷つけるとともに身体的・精神的な機能低下を進めてしまうこととなります。

例えば認知症がある人の場合はなぜ自分が施設に入所しているのか、何をしたらいいのか分からない・ここがどこか分からないなど様々な不安の中過ごしています。

この不安こそが、徘徊や帰宅願望などの行動に繋がっていくのですが、そのことを理解していなければただ動いて欲しくないという気持ちから「立たないでください！」というように本人の行動を止めるような言葉がけをしてしまいます。

そうすると本人は目的があって行動していたにも関わらず「どうして座っていないきゃいけないの」という思いになり、逆に徘徊や帰宅願望などの行動がエスカレートしていきます。

認知症がある人の徘徊は目的がなく歩き回っているではありません。「家に帰りたい」などの目的や理由を持って歩いています。

それらの目的や理由を聞くことなく、「転ぶと危ないから」などと安易に「座っててください」というような言葉を掛けるのは本人の気持ちを無視している

ことになります。

人間は行動を制限されると余計に反発したくなる気持ちを持つと言われていま

す。
そのため認知症の人であれば行動を抑制されることで症状を悪化させてしま

まとめ

いすや車いすから立ち上がる場合などでは、必ず理由があると思います。例え

ば、「トイレに行きたい」、座りっぱなしでお尻が痛いなど様々な事が考えられ

ます。
立ち上がった方が見えたら、駆けつけ「どうされましたか？」などと声を掛け

④ 質疑応答

行事報告より

・避難訓練での避難時間は前回に比べてどうですか？

まず、1号館は避難時間が前回より少し掛かりました。2号館では、通常東屋

・外食での、お寿司は皆さんどれくらい食べられますか？

外食での、お寿司は平均3～4皿ぐらいです。多い方で7～8皿の方も見えま

身体拘束適正化検討委員会より

- 利用者様で、立ち上がったたり、待てない方はいますか？

立ち上がったたり、待てない方は見えます。例えば、トイレに行きたい時に、何度か立ち上がられたり、周りをキョロキョロと落ち着きがなくなる方も見えます。そういった、普段と違う些細な変化に気づき、こちらから声を掛けるなど対応して行けたらと思います。

⑤ 次回開催予定日

2019年8月27日（月）14時～